

3学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 23 号 通算 203 号

2017. 5. 17 (水) 247 日前

南東北インターハイ記念「ストラップ」ご協力ありがとうございました！



3 年 4 組の KM です。インターハイ推進委員として 1 年から、今年の夏に開催される南東北インターハイ開催の準備を進めてきました。先日は各クラスの HR 委員、代議員と理系・理数科の皆さん、インターハイ記念品ストラップの作成へのご協力、ありがとうございました。

ストラップ作成時に説明が出来なかったので、ここでストラップについて説明させていただきます。



今回、作ってもらったストラップはインターハイに出場した選手や引率の先生方に記念品として渡されるものです。この記念品は毎年開催県でデザインから作成まで地元の高中生でしています。ストラップは各地区でデザインが違い、置賜地区は米沢市の ABC をストラップトップにしています。

折角なので、推進委員についてもさせていただきます。

推進委員では主に高校生が中心となってインターハイの準備、当日の運営を行います。今まではイ



ベントで PR 活動をしてインターハイの開催について広めたり、他県から多くの人をお迎えするにあたって山形の伝統工芸品やおもてなしとは何か、ということを講演会を通して学んだりしてきました。

(私事ですが、他校の生徒と一緒にイベントを作っていくことはやりがいもあって楽しいです)。ちなみに、山形県で前にインターハイがあつてから 50 年弱経つらしいです。高校生の間に地元でインター

ハイが開催されるってなかなかない貴重な事なんですよ。

長々と書かせて頂きましたが、最後に。運動部の皆さん、地区大会お疲れ様でした。そして、県大会出場権の勝ち取った人は頑張ってください。多くの方が地元開催のインターハイに選手として出場できることを応援しています。

訂正します！

3 学年通信に地区総体の結果を載せましたが、バドミントン競技で MR 君が抜けてしまいました。正しくは、男子シングルス 3 位 WD 君、MR 君 です。

WD 君と MR 君はダブルスでも準優勝です。どれだけ仲イイの。きっと 2 人が米興で出会ったのは 1 つの必然かもね。もしかしたら前前前世でもダブルスだったかもね。本当にすいませんでした。

大学進学のエコノミクス? 横山

奨学金の話をする時期となりました。そうですね。来年の今頃、3 年生諸君は日本中もしかしたら世界のどこかの国で大学生になっていることでしょう。大学生活は諸君が夢見ていた「学びの世界」ですが、それには当然のようにお金がかかります。一般的に、子供 1 人が 4 年制大学まで進学する場合、小学校から通算して約 1000 万円の教育費がかかりますと言われます(国立大進学で一人暮らし)。これは大げさな金額ではありません。様々なパターンでシュミレーションしてみました。

<パターン 1>

ご息子は私立大学工学部情報科に進学しました。4 年間で大学に収める総費用は

- ① 入学金 500,000 円
 - ② 学費 1 年 1,300,000 円×4 年 = 5,200,000 円
- 計 5,700,000 円

日当たりの悪い線路側の古いアパートに借りた場合の生活費は

- ① アパート代 40,000 円
 - ② 電気・ガス・水道 10,000 円
 - ③ インターネット・スマホ 10,000 円
 - ④ 食費・その他 30,000 円
- 計 90,000 円×48 か月 =
- 計 4,320,000 円
- よって、無事 4 年間で大学を卒業した場合
- 総計 約 1 千万円

<パターン 2>

ご息子は山形大学理学部に進学しました。4 年間で大学に収める総費用は

- ① 入学金 280,000 円
 - ② 学費 1 年 820,000 円×4 年 = 3,280,000 円
- 計 3,560,000 円
- 生活費はパターン 1 と同等とすると
- 総額 約 800 万円

<パターン 3>

ご息子は東北大学工学部に進学しました。4 年間で大学に収める総費用は山大とほぼ同じ。米沢有為会の「仙台興譲館寮」に入寮した場合(他の国公立の寮も同じような金額です)

- ① 月額約 40,000 円(朝夕 2 食付き)
 - ② インターネット・スマホ 10,000 円
 - ③ 昼食代・その他 10,000 円
- 計 60,000 円×48 か月
- 計 2,880,000 円
- 総額 約 660 万円

A 東京の興譲館寮は約 5 万円で男女別にあるので、東京大学等に行く場合も↑でよい。

B パターン 3 の場合、48 月で割るとは 660 万円÷48 か月 = 130,000 円

C 週末土日に時給 1000 円で 8 時間アルバイトをすると 月 70,000 円

D アルバイトを見込むと、月々 60,000 円 4 年間で 総額 約 300 万円

E ここに奨学金「貸与奨学金 3 万円」を借りると、総額 約 150 万円

F ここに奨学金「貸与奨学金 5.1 万円」を借りると、総額 約 50 万円

このように国公立大学&アルバイトで「奨学金を見込む」と保護者の負担が少なく大学生活が可能であるように思えてしまいます。次に奨学金とその返還について調べてみようと思います。

日本学生支援機構の奨学金について

奨学金とはその名の通り「学びを奨励するお金」です。ですから「学ぶ意欲に溢れている」または「高い学びの素養を備えている」ことが大前提。また「経済的に厳しい家庭状況にある」ことです。そして当たり前のことですが「卒業後に確実に返済する意思があるか」が何より重要だと私は思うのです。では、上記3つを踏まえ「日本学生支援機構の予約奨学金」について調べてみましょう。

I 奨学金の種類は3つ

- ① 給付奨学金 . . . 返す必要無し
- ② 貸与奨学金 第一種 . . . 返す必要有り（無利子）
- ③ 貸与奨学金 第二種 . . . 返す必要有り（有利子）

II それぞれの条件 . . . 大きな項目のみ記載している。例外もある。

① 給付奨学金

以下の、ア～ウのいずれかに該当する者が申込みことができる。

- ア 家計支持者が個人住民税（市町村民税）所得割を課されていないこと。
- イ 現在、生活保護を受けている。
- ウ 社会的養護が必要で施設に入所している。

*該当する人は学校（米興）へ申込みこととなりますので相談して下さい。

② 貸与奨学金 第一種

以下のA,Bの条件を両方とも満たしていること。

- A 学力 . . . 1～2年までの評定平均3.5以上（大学進学後申込み場合1～3年となる）
- B 家計 . . . 前年度1年間の家計収入が747万円以下（4人世帯の場合）

③ 貸与奨学金 第二種

A 次のいずれかに該当すること

- ア 1～2年までの評定平均が平均水準以上であること。
- イ 特定の分野において特に優れた資質能力を有すること。
- ウ 意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあること。

B 前年度1年間の家計収入が1,100万円以下（4人世帯の場合）

*上記A、Bの両方を満たしていることが条件です。

III ご家庭でお話頂きたいこと（特に保護者の方へ）

ご家庭の家計状況について、お子様を含め家族でお話し合いをお願いします。家庭の状況を知ること（住宅ローンなど）、学費や生活費、借金について学ぶ貴重な機会だと思います。まずは日本学生支援機構の「予約奨学金を申しこむかどうか」は申込み期限がありますので早急に決定する必要があります。その場合、次に「どの奨学金を申込みか」となります。大学入学後も申込みは可能ですが、金銭的な不安無く受験勉強に専念できること、予約することで決意が固まることもあるかもしれません。今回は奨学金希望の有無に関わらず、いろんな話をする良い機会だと思います。ぜひ、保護者の皆さまから「人生の先輩」としてお話頂ければ幸いです。

奨学金の返還について（特に生徒諸君へ）

やはり、ここまで書いたら返還まで触れないわけにはいきません。言うまでも無く給付型以外の奨学金は「全て借金」です。諸君が大学卒業後にその全額を、有利子の場合は利子を上乘せした額を10年～20年かけて返済するのです。では、いくつかシュミレーションしてみましょう。まずは、② 貸与奨学金（無利子）の自宅外で計算してみると、

まずは4年間として、毎月返還する場合

4年制大学	月額	貸与月数	総額	返還月割	返還回数	返還年数
国公立・私立	3万円	48ヶ月	144万円	9,230円	156回	13年
国公立	5.1万円	48ヶ月	244.8万円	13,600円	180回	15年
私立大学	6.4万円	48ヶ月	307.2万円	14,222円	216回	18年

大学院まで行って6年間借りる。

6年制大学	月額	貸与月数	総額	返還月割	返還回数	返還年数
国公立・私立	3万円	72ヶ月	216万円	12,857円	168回	14年
国公立	5.1万円	72ヶ月	367.2万円	15,300円	240回	20年
私立大学	6.4万円	72ヶ月	460.8万円	19,200円	240回	20年

ここまで調べて書いてみて、すごく不安になりました。無利子で月額3万円借りた場合、月々の返済は9,230円と少額に見えるけれど、1年にすると約11万円を13年間返すことになるからです（私は有利子2.8万円を4年間借り、毎年12万円を11年間返しました）。13年は短くありません。4年生大学を卒業して22歳としても、返還が終了するときには35歳です。この月額3万円は最小単位ですから、さらに金額を上乘せした場合や有利子の場合には、返還額が増額し返還回数も増えることとなります。有利子で借りる場合は3万円から5万円と2万円刻みで最高12万円まであります。これらの計算もしてみたのだけれど、ちょっと返還は大変過ぎると思います。あまり表に出ないのですが「返済に追われて苦しい生活をしている人」や「返済のために借金をする人」も数多くいるのです。ですから、私は「借りないで済む」ならそれに越したことは無いと思うのです。少なくとも「安易に借りる」ことは絶対避けなければなりません。当然返還するのは諸君です。大学卒業後の10～20年の人生を見据えて決めることです。そのためには保護者の方との話し合いが必要です。少なくともお金は、今のあなたではどうにもならないことの1つだからです。あなたの受験大学の学費やその年数、生活の仕方をシュミレーションすることなど容易いことです。その金額を持って「ウチはどうか？」と相談してみてください。その結果としてどうしても必要ならば「最小限の奨学金を借りる」という流れになるのです。日本学生支援機構の予約奨学金「生徒向け説明会」を**5月23日(火)12時から**行います（教室等に掲示済です）。保護者向けの説明会はありません。ですから、それまでにキチンと話をして保護者の方が不明な点はあなたが質問しなければなりません。なぜなら、それは最終的にあなた自身の問題だからです。結びに。来週から中間考査です。地区総体の結果を引きずっているとか、課題が大変とかetc. もう、そんな時期ではありません。親に金銭的苦労をかけたくないなら、借金したくないなら、何より第一希望を実現したいなら「一途に学びに専心すること」それが今のあなたの使命です **終**